

上に一の驛點となるのは生産過剰の懸念である。それ故に生産増強のためのいかなる國際的計畫も、市場の擴大と適正價格を或る程度保證しなければならぬ。

國際會議は緊急の食糧不足問題、長期の食糧増産問題、過剰農産物問題等のあらゆる部面について討議するものである。この目的を達成するために、食糧農業林業及び漁業における年間の現狀を報告したのである。また國際會議は食糧農業機構の十八ヶ國理事會設置を考慮して居る。この理事會は年間に於いて隨時情勢の變化を調査し、各國政府に對し必要な調整を勧告することになる。

東歐諸國の農民問題

這次大戰以來、フランスムより解放せられた東歐諸國の農民の地位身分に重大な變化が起つた。これら諸國に現われた農業改革は其の一の明白な説明である。これらの改革の政治的經濟的結果は如何であつたか。民主化發展の途をとつた諸國の農民の役割は如何か。今日の農民の地位を戦前のそれより區別するものは何か。かういふ前書でコンスタンチノフスキー氏は大要次のように説明している。

I

ユーゴスラヴィア、ルーマニア及びブルガリアの戦前の歴史は東歐及び南東歐の農業諸國の典型的且つ特異なものであつた。

これら諸國の過去における農民の政治的役割は、農民が經濟的社會的に遅れていたという事實によつて専ら決定される。ユーゴスラヴィアでは戦前の統計によると、有業人口の七八%以上が農業者であり、ルーマニアでは七八・二%、ブルガリアでは七九・八%が農業者であつた。これら諸國の農業の特色は、小農が壓倒的で従つて封建制度が強く遺つて居るということである。戦前、ユーゴスラヴィアの農民の七〇%、ルーマニアの農民の七四・九%、ブルガリアの農民の六三・一%は五ヘクタール未満の農地保有者であつた。

ルーマニアでは一九一八年乃至一九二一年の農業改革に依つて大地主は若干弱められたけれども、それでもブルガリアやユーゴスラヴィアと同様大きな勢力をもつて居た。彼等は反動的非民主的政策の支持者であつた。朽廢した農業關係はこれら諸國の經濟的發展を阻碍した。このことは惹いて外國資本をして東歐諸國の經濟的支配權獲得を容易にした。

これらは南東歐諸國に共通の性格であり、其の後退性の現れであつた。農民は困窮と缺乏で消磨せられ國家の政策に何等の影響も及ぼすことが出来なかつた。東歐農民政黨の大半は内部相剋に災いされ、黨員の大部分は小農であり、其の指導權は富裕な資本家的分子によつて掌握され、政黨の政治活動は常に指導權を握る小數分子の利益中心に爲された。このことは兩大戦期間における所謂農民政府の破産を意味し、勞働運動に對して續行した執拗な闘争を説明し、従つて又所謂農民指導者がフランスムに屈服した。

ことを物語るものである。

(二)

這次大戦中の發展の筋道は東歐諸國において必ずしも一樣でない。しかしながら、農民の經驗は程度の差こそあれ共通の結論に達せしめた。ユーゴスラヴィアとルーマニアはその例である。

ユーゴスラヴィアでは、一九四一年四月の獨伊侵入により、進歩的勞働運動の政黨を除いては既存の政黨は全て實質上分解せしめられた。農民政黨の指導者にして最初から屈服するものが一再ならずあつた。已に戦前ナチ勢力に屈從したクロアチア農民黨の反動的指導者は、獨逸ファシストの侵寇に妥協的態度をとつた。彼等はチエツコスロヴァキアの解體を承認した。マセクがクロアチア農民にデモフランシ聯盟(ウスタシ)が妥協したためにつくられたバヴェリツク軍の一部)參加を説き勧めたことも、別に不思議でも偶然でもない。

しかし農民政黨の指導者の屈服に對するユーゴスラヴ農民の返報は獨逸侵寇に率先抵抗した進歩的勞働運動と同じ筋道をとるのが當然だつた。ユーゴスラヴィア全地方の解放戰爭における闘士の大部分は農民であつた。彼等なくして彼の如く長く有効に繼續せられたゲリラは考えられない。農民活動に刺戟せられて、農民政黨の舊首腦の多くは戦線變更を敢てし、侵入者との合作を宣言し、剩すところなく人民戦線に参加した。

ルーマニアでは事情は些か異つた。ルーマニアはヒトラー締盟の一員であり、従つて戰爭中反ファシズム運動は殆んど起らな

つた。ルーマニア農民はユーゴスラヴィア農民の如き政治發展の道をたどることは出来なかつた。しかもルーマニアにおいても戰爭は全國農民黨首腦に對する不信を増した。マニウの策謀はアントネスク政權の出現を扶けた。マニウは獨逸との締盟を維持し反ソ戰爭を繼續した。全國農民黨の副總裁たるミハラシエは自ら進んでアントネスクのファシスト軍に投じた。黨のボブや他の指導的右翼は、獨逸ナチスと結托し剩さへ北トランシルヴァニアを劫掠したハンガリアの封建地主と結托して、戰爭と共に日増しに富裕となつた。

アントネスク政權の崩壞後、ルーマニア農民は今や楯下の阿蒙ではなかつた。彼等は嘗て見ざる政治活動を演じた。彼等はマニウの偽裝農民黨に背を向け、グロザ政權を保證した進歩的民主政黨を熱心に支持した。

かくして、戦時中これらの諸國には、程度の差はあつても、農民の政治的役割に根本的な變化を齎らす大きなプロセスが現われた。荒廢と壊滅の最中にも、ヒトラー獨逸の敗退後豊かに結實した新生の芽生が吹き出していた。

(三)

戰爭以來、東歐農民の地位に現われた大きな變化は經濟的な面と政治的な面との兩つをもつた。先づ前者について見る。ファシズム崩壞後新たな型のデモクラシーが起つた全ての諸國に、先づ現われたのは封建主義遺存の掃除であつた。これは勤勞階級と農民の相互密接な連繫活動によるものであつた。

如何なる農業改革も、其の特色はそれが如何にして爲され、何人に依つて爲されたかによつて決る。農業改革が、前大戦後の如く、農民を宥めし、僞購するために支配階級によつて爲されたか否かが其の一である。このようにして試みられ、數年間に亘つて引廻された農業改革は、事實において嘗て完成したこともなければ、或る場合には何等の結果をすらも得なかつた。農業改革後二十年を経過した一九四〇年、ルーマニアでは農務大臣は次のように宣言した。曰く「農業改革は未だ完成していない。……農地三、六〇〇件中没收地の譲渡は未完了である、再分配の計畫は四三三、〇〇〇ヘクタールに就いて未だ爲されていない、未だ分配を了していないものが四九〇、〇〇〇ヘクタールある、農業改革關係の訴訟九〇〇件は裁判所の審理中に屬する」と。

ブルガリアの農業改革は、ツァンコフのファシスト・クーデター後の一九二三年已に停止された。

東歐の現在の農業改革は、土地を所有せざる農民及び農業労働者をもつて組織せられ、地方委員会を通しての農民自身の積極的參加を俟つて、進歩的民主政權に依つて爲されている。改革は謂はば急進的な性格をもつている。大土地所有及び封建的搾取の遺制は一切排除された。大地主のサポタージは防止されている。分配さるべき土地の目録が作成されているばかりでなく、それは遅滞なく土地を必要とする農民間に分配されている。ポーランド、ルーマニア及びハンガリーでは、大土地所有は全て一年を俟たずして農民間に分配された。

前大戦後に現われた農業改革は、結局において大部分の農民が以前より遙かに悪い條件下におかれるという効果をもつたに過ぎなかつた。凡ゆる援助が取去られて、新たに土地所有者となつた者は、間もなく高利貸と銀行の奴隷になり、大半のものは一度得た土地を失つて終つた。

純正の民主政權が樹立せられるに至つた東歐諸國の現在においては、事情は異なる。新たに土地所有者となつた者の土地保有のための方法は講ぜられている。政府は農民に基本的資材の援助を與えている。如何なる場合にも、土地保有の限度が定められ、農民の借債務はキャンセルされ、土地保有の細分化防止策がとられ、協同組合は凡ゆる援助を受け、農業の機械化と改善促進のための諸條件がつけられている。

社會的經濟的改革は新たなデモクラシー、即ち大規模農業及び銀行の國有化と經濟計畫原則の採用の型で行われるが、これは大規模農業を小規模農業に置換える仕事を可能ならしむるものであり、この方面での進歩は戦後の諸困難にも拘わらず大いに見えるべきものがある。

ブルガリアの場合には、その良い例である。農民の必要を充たすためには可耕地百萬ヘクタール以上を必要としたが、しかも可耕地は足りない。そこで一九四六年三月十日これに關する法律が國會を通過した。これは二の部分から成る。第一は新たな土地改革の性質と範圍に關するものであり、第二は土地の大規模開墾、荒廢地の農用地轉換、農業生産協同組合の促進を狙うものである。機

械力による大規模農業經營に必要なものは全て政府より支給せらるべきことが後者に規定されておる。愛國人民戦線の農業政策は一層能率的にして且つ生産的なる線において農業を再編成せんとするものである。本年二月、協同農場代表者第一回會議がソフイアで開かれたが、この種の農場は已に四三八を數え、その参加員數は四四〇〇〇を超えている。その耕作面積合せて二十萬ヘクタール、立派な成績を収めている。

新デモクラシーの一般農業政策及び農業改革の進歩的經濟成果は、戦後事情による大きなハンディキャップにも拘わらず、已に著しいものがある。土地分配の利益は、デモクラシー捷利後、地主がサボタージュに依つて國內に飢餓を惹起さんとしたとき、一四五年春の播種闘争の成功となつて現われた。新たな土地所有者は非常な熱心をもつて作業し、食糧不足克服に邁進している。

大土地所有に代つて多數の農民農場が東歐に現われたことは、必ずや近き將來に好結果を生むであらう。戦争の結果とナチの仕事を拂拭することは容易でない。たとえニューゴーストラヴィアでは、戦争による農業被害は二六八、〇〇〇百萬デナース、ポーランドでは二三、〇〇〇百萬プロחסと推定されるが、更らに其後引續く二ヶ年間にこれ諸國を襲つた旱魃によつて事態は複雑となっている。それにも拘わらず、一般農民の物質的諸條件は已に著しく改善された。

これら諸國の農民は、現在政府によつて擁護せられる程度の僅か一部でも彼等のために擁護してくれた政權というものを未だ嘗

て過去において知らないのである。農民は彼等の政府と社會一般の立場において彼等の必要というものを未だ嘗て今日ほど痛感したことはなかつた。新デモクラシーの經濟政策と農業關係の改革とは農民の新たな政治指向と地方におけるデモクラシー基礎の強化に歸せられる。

四

ここで東歐諸國における農民問題の政治面に眼を轉ずる。

これら諸國においてはファシズムは農民大衆にとつて一の致命の危険であつた。されば已に戦争中國民の各方面の代表者は、國家の利益よりも各自勝手な利益を重しとする僅かの地主とか工業家だとか金持だとかを別にして全て民主的團體に参加した。已に最初の發足から農民の直接参加によつて新たなレヂームがつくられたのである。

新ニューゴーストラヴィアは農民は國家の行政に参加している。そしてこのことは單に農民の多數代表が中央の政府機關におけるといふことや、農民政黨が「人民戦線」に参加しているといふことからはではない。ニューゴースラヴのデモクラシーの本質的な特色は、人民が「人民戦線」の農村及び都市の委員會を通して行政を處理しているという事實である。この「戦線」は進歩の眞の擔い手としての國民の最も廣い部分を包含している。「人民戦線」の中核は勞働者と農民の結合である。この種の政府の組織の中で農民大衆は國家行政の直接参加を決定的に確保している。

他の東歐諸國においても、農民政黨は同様に民主的政治聯合の

重要な要素となつてゐる。併し固よりそれは戦前の地方を代表した政黨ではない。戦後農民運動は三の主な傾向に區別される。

第一のものは舊農民政黨中若干のものが従來の反動的指導分子排除に成功して新たな進歩的民主政權樹立に参加したことである。このカテゴリーに屬するものにはブルガリア農民聯盟が挙げられる。これは、戦後前書記長のデイミトロフ博士及び其の一派の活動を制壓し、労働者農民の離間に策動したベトコフ及びその一派を排除した。ベトコフの攪亂工作は依然つづけられ、外國の保護者を持ち、全たく同一名稱の聯盟を新たに組織しているにも拘わらず、ブルガリア農民聯盟は「愛國戦線」に忠誠を守りつけ、其の代表者を政府に遣つてゐる。

第二のものは、若干の事情で反動指導者の制御が出来なくて、一の公然たるファシスト的地位に墮した舊農民政黨である。これらの政黨は、事態の前進につれ何事も公然とは出来ない日蔭反動者の避難所化し、それがために反動的性格を曝すに至つてゐる。これら二の相關的筋書は種々の國で確然と看ることが出来る。

たとへば、戦後ルーマニアでは、全國農民黨がファシスト・テロリスト團の一翼に成下つてゐることは極めて明白である。マニウの率いる政黨はその遮蔽物となつてゐる。マニウ自身はルーマニアの全反動勢力の前驅である。結果は全國農民黨が戦争以來常に危機状態におかれ通したということである。アレクサンドレスク及びモドランの率いる其の青年部員は黨を脱出して新政黨をつくつた。農民黨の副總理でありルーマニア農民運動創始者の一人であ

るルア博士一派、多數の有力黨員及び黨の諸會派の脱黨が相次いで現われた。一九四六年十一月の選挙では、マニウ一派は其の城砦と見られたトランシルヴァニアの多數區においてすら敗退した。

ポーランドでは、ミコライスツイクの政黨である P・S・L (Polskie Stronnictwo Ludowe) は今以て農民黨と自任しているけれども、實際上はそれは反國民的な反動政黨である。これに参加しているものは、現在禁止されている政黨の反動分子、ポーランドの民主主義化を防止せんとする者共である。これが一の結果として純正デモクラシスト及び農民のこの政黨への結集を著しく困難ならしめた。昨年六月に、*Nowe Wyzwolenie*、という雑誌がミコライスチクに反對の一群の黨指導者の機關誌として發行されたが、其の趣旨書の中で次のように言つてゐる。曰く、「我々は地方に住み地方と利害を一體とする P・S・L の其の黨員を代表する」と。

國會選挙後、黨諸會派の大多數はミコライスチクと袂を別つた。今日では、ミコライスチクを熱心に支持したアングロサクソンのオプザヴァですら、彼のポーランドにおける勢力が薄弱で國民は彼に對する政治的關心を全たく失いつゝあることを認めざるを得ない状態に在る。

ハンガリーでは、「小農黨」は戦後公式に民主的態勢をとり、民主政治聯盟に参加した。ところがそれ自身の合法的政治組織をもたない反動勢力は、その固有其ののために「小農黨」を利用しようとしてゐる。黨の右翼は進んでこれに同意しファシスト分

子に門戸を開放せんとし、かくして黨は陰謀家と共和國の敵の隠れ屋となつた。

ハンガリアの反動者は浸透技術を身につけておる。しかし近代デモクラシーは其の防衛法を身につけておる。民主的達成物は今や國民大衆によつて防衛されておる。反共和國陰謀は未然に發見され、ペラ・コヴァクスと彼のホルスイトの友人とは其の無實を證明された。

戰爭以來農民運動の政治的性質を變化するに與つて力あつた第三のプロセスは、新たな農民大衆組織の生起であつて、其の政綱は勤勞階級との結合の上にもとづくものである。ルーマニアの全農農民黨が分離したとき、ベトル・グロザを首領とする一の農民組織である「農家戦線」が其の黨員と力を擴大した。戦前にはこの組織の支部はトランシルヴァニア地區に僅かに二、三あるに過ぎなかつた。然るに戦後には、農民は農民黨からは何物も期待出来ないことを悟つて、「農家戦線」に結集し始めた。現在ではその黨員百五十萬餘を算する。これはルーマニアの農民を鼓舞する新理想の力の明確な表れである。

このことは他の東歐諸國の農民についても言い得る。勤勞階級との協同に反對し國民的民主的政權に反對した舊農民政黨及びその指導者は、農民大衆からは次第に孤立し、その結果として政治的滅亡への途をたどる。

東歐諸國における農民の新たな政治的役割を見る場合、注意を

要することは、これら諸國の政策において重要地位を占める問題、即ち國家獨立に對する強い要求の點である。ポーランド、ユーゴスラヴィア、ルーマニア及びブルガリアの急進的農業改革は農民の生活全體を變化せしめたが、それは主としてこれら諸國がその國家主權を維持し得たという事實に依つて可能ならしめられたのである。そしてこのことを反面から言つと、それは妙からざる程度において農民の政治活動によつて可能ならしめられたものである。我々は農民なくして其處に如何なる強力なる國民運動もあり得ないことを知る。現在の條件の下では、東歐諸國の民主政權は農民の積極的支持なくしては國民的問題を解決することも又國民的獨立闘争に成功することも出来なかつたであらう。

戦前のこれら諸國の農民の政治的退歩と經濟的弱體とは外國資本の掌中において現われた。ここでは外國資本は最小の抵抗と最廉の勞動力を経験した。獨逸が東歐諸國の退歩的農業性格を存続せしめて工業獨逸の背後地たらしめんとしたことは一般に知られるところである。これら諸國の内部でも、かくの如き傾向を支持したものは農業政黨に組織せられた地主のみではない。大部分の「保守的」農民政黨の指導者の多數は外國資本の利益を増進した。獨逸帝國主義者の計畫は大蹙跌を喫した。しかし今日では他の帝國主義勢力が東歐諸國に關して同一政策を推進めている。彼等の惧れるところのものは、封建的遺制の排棄と急速なる經濟的發展とは外國の獨占資本をしてこれら諸國にその支配を確立することを不可能ならしむるということであつて、強ち理由のないこと

ではない。農民の政治的保守性と舊農民黨の指導者の反動傾向とは外國の支配を利する重大要素である。

南東歐で獨逸帝國主義の出先機關が公然とそれら諸國の退歩性の存續を辯護したことが一時あつた。ユーゴスラヴのファシスト組織の首腦である「ズボール」(Zbor)が嘗て言つた「トクターは風景を害する」「農民の迷信と無知とは」「ルーミアニアのファシスト指導者の持つる「我々の理想たるべし」と。東歐農民の新自稱擁護者も同じ題目を唱えているとも謂う。近くは土耳其古代辯者の一人は、彼の言葉通りにいふと、通俗デモクラシーは「農民の特色を破壊した。」そして英國の新聞は、農業改革が東歐諸國の農業を頽廢に導くであろうことを豫言している。

疑いもなく、農民の政治的保守性は、東歐諸國から眞實の國民的獨立を抜き去り、彼等を外國資本の獨占支配下におく計畫においては一の重要な要素であつた。さればマニウ、ミコライエヌチク及びベトコフが外國資本の一部圍で引續いて廣く支持を享け得ているのである。しかしそのことは農民大衆が何故に舊農民黨とその指導者から離脱しつづめるかの理由の一である。

マニウ及びその一派が、巴里平和會議當時外國資本の主張を公然支持した態度は、ルーミアニア農民間に深い疑惑を惹起した。ミコライエヌチクとその直接周圍の者が外國帝國主義の出先機關であるという事實は、P. S. L 分解の主要理由の一である。

農民大衆はその國家主權防衛の必要に尤も敏感である。彼等は國家の獨立なくしては新經濟構造を鞏固にし、農業改革を完成し、

或いは彼等が直接關心をもつ新デモクラシーの諸方策は不可能たるべきことを宜く心得ておる。従つてこの問題についても、反動主義者は選挙をし進歩的民主政策は正當化された。

結論は明白である。僅々數年間に、嘗ては困窮と壓迫と無知との裡に數世紀の間生きて來た東歐農民の目ざましい政治的自覺を示したことを我々は具體的に見た。これは重大なる歴史的貫徹の一のプロセスである。ポーランド、ユーゴスラヴィア、ブルガリア及びルーミアニア諸國の農民の新政治様相は、東歐諸國に成立せるデモクラシー形式の優秀さの他の立證であり、そのデモクラシーの進歩的性格と漸次的成功の優れたる説明を供するものである。(New Times, May 9, 1947.)